

⑳スノーシューハイキング



(活動時間の目安：2～3時間)

| | | | | |
|-----------|--|---|------|---|
| 概要 | スノーシュー（雪に沈みにくい器具）で雪上を歩く活動プログラムです。 | | | |
| ねらい | 体力の向上を図ることができます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。 | | | |
| 条件 | 対象 | 小学4年生～ | 人数 | 制限なし |
| | 時期 | 1月～3月（積雪時） | 実施判断 | 雨天時や強風時は中止 |
| 準備物 | 交流の家（貸出物品） | 団体（準備物） | | 個人（準備物） |
| | <input type="checkbox"/> スノーシュー <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> 救急セット | | <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル |
| 引率者の役割 | 団体責任者 | 研修指導員との打ち合わせ（研修指導員を依頼した場合）と実施判断・中断の決定をします。 | | |
| | グループ責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 研修指導員からの指示（研修指導員を依頼した場合）や注意事項などを参加者に伝えます。 （学校では担任が一般的） | | |
| | 救急係 | 救急セットの携帯と応急手当をします。 | | |
| 研修指導員の役割 | <ul style="list-style-type: none"> 活動開始の30分前に交流の家で団体責任者と打合せをします。 活動中は道案内をしたり、危険個所で状況に応じた指示を出したりします。 活動終了後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。 | | | |
| 交流の家職員の役割 | <ul style="list-style-type: none"> 物品の貸出や回収を行います。 引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 返却物品の個数と破損の有無の確認をします。 当日活動前の打合せ、活動後の振り返りの進行を行います。 | | | |
| 活動の流れ | <p>【活動実施前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前にハイキングルート、所要時間、危険箇所等を確認します。 引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。 スノーシューの装着方法と返却方法を確認します。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。 グループ責任者は安全面について指導を行い、参加者が正しくスノーシューを装着しているか確認した後に活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。 | | | |

| | |
|----------------------|---|
| | <p><研修指導員を依頼する場合></p> <ul style="list-style-type: none"> • 引率者は入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。 • 団体責任者は活動開始 30 分前に、交流の家事務室で研修指導員と打合せをします。 • 引率者は活動中に研修指導員から指示があった際は参加者全体に伝達と指導を行います。 • 団体責任者は活動終了後に交流の家事務室で研修指導員と振り返りを行います。 |
| <p>安全管理 留意事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○スノーシューは体重別に合ったサイズを選んでください。 ○歩行中にスノーシューの留め金が外れないように調整し、しっかりと固定してください。 ○必ずグループ単位で行動してください。 ○活動の際は、緊急用に必ず交流の家と連絡が取れるように携帯電話をお持ちください。 ○研修指導員を依頼する場合は参加者 30 名に研修指導員 1 名が目安になります。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。 |